
昔一緒に遊んだ
お兄ちゃんと再会したら
あの頃と姿が
変わっていなかった話


わ〜っ


すっごい
おっきい!!!
ここは
山の神様の
お家だよ
ひよちゃん
神様？
村の人達と
順番こで
神様のお家を
綺麗にしてるんだよ
ひよちゃんも
一緒にお掃除
しようねぇ
うん!!


わっ
キレイ～
ガサッ
ザッ
ザッ
まって～
わあ～～～!!
わっ!?
ぐえっ!?


いつつ……
痛いじゃない…
ごっ
ごめんね？
いたんだ…
か……


お前かわいいな
ガシッ
名は？
ひ…ひよ子…
ひよ子か…俺は九十九！
九十九と書いてツクモと読むんだ
ふ～ん…
変なの
ガリガリ
ところか！変か！
これが九十九くんとの出会いだった

九十九くんは
肌が青白くて
髪が長くて
ボロボロな
甚平を着ていて

とにかく
不思議な
お兄ちゃんだった

でも明るくて
おもしろくて

植物や
虫についても
詳しくて

おばあちゃん家に
泊っている間は
毎日一緒に
遊んでいた

そして
おばあちゃん家で
過ごす夏休み
最後の日……



そうか！
では俺の嫁に
なってくれるな？

ぱっ

よし！
子作りしよう！

？？

コヅクリ……？

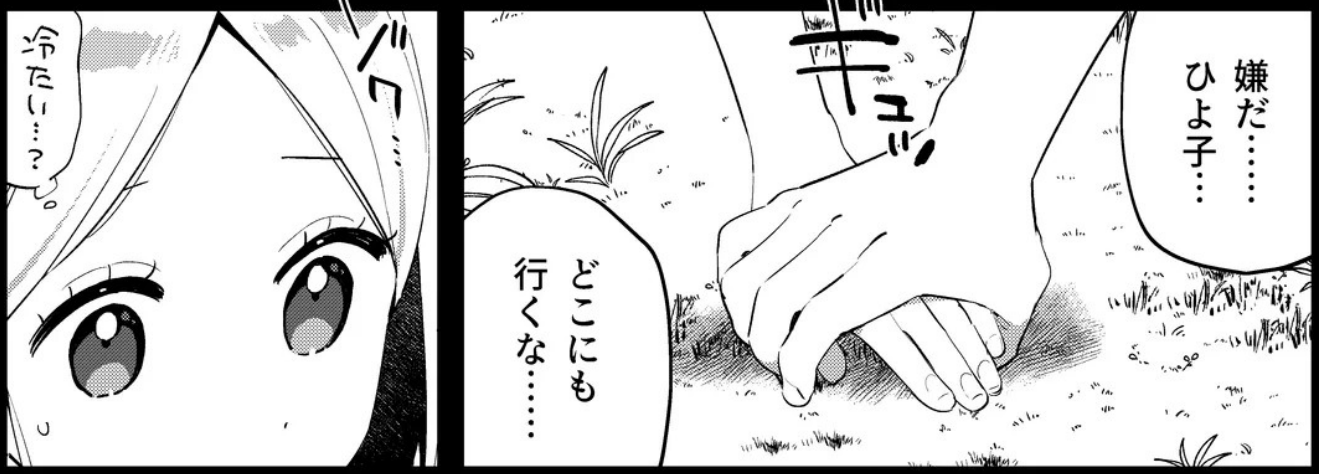
…あ

でも
九十九くん…

ん？

私そろそろ
お家に
帰らなきゃ…


なに？
まだ帰る時間じゃないだろう
うーん…そうじゃなくて…
今はおばあちゃん家に遊びに来てるだけで…
本当のお家はもっと遠いところにあるんだ……
…っ！


嫌だ……ひよ子…
どこにも行くな……
冷たい…？


俺を一人にしないでくれ…ひよ子……
また遊びに来るよお正月…とか？


…絶対だぞ
う…うん
ギュッ
離れている間も
俺の嫁ということを
忘れるなよ
もし忘れたら……
じゃあ
次会ったら
コヅクリってやっ
しようね



ジーン
ジーン
ジー……

私にはどうしても
思い出せない
子供の頃の記憶がある



夏休みに
田舎の神社で
出会った
不思議な男の子

九十九（ツクモ）くん



お兄ちゃんの
ように慕って
毎日一緒に
遊んだのに

私は
成長するに連れ
彼のことも
彼とした〝約束〟も
忘れてしまい
そのことすらも
覚えていない



そして時は流れ
6年後――

再び田舎へと
やってきた私は



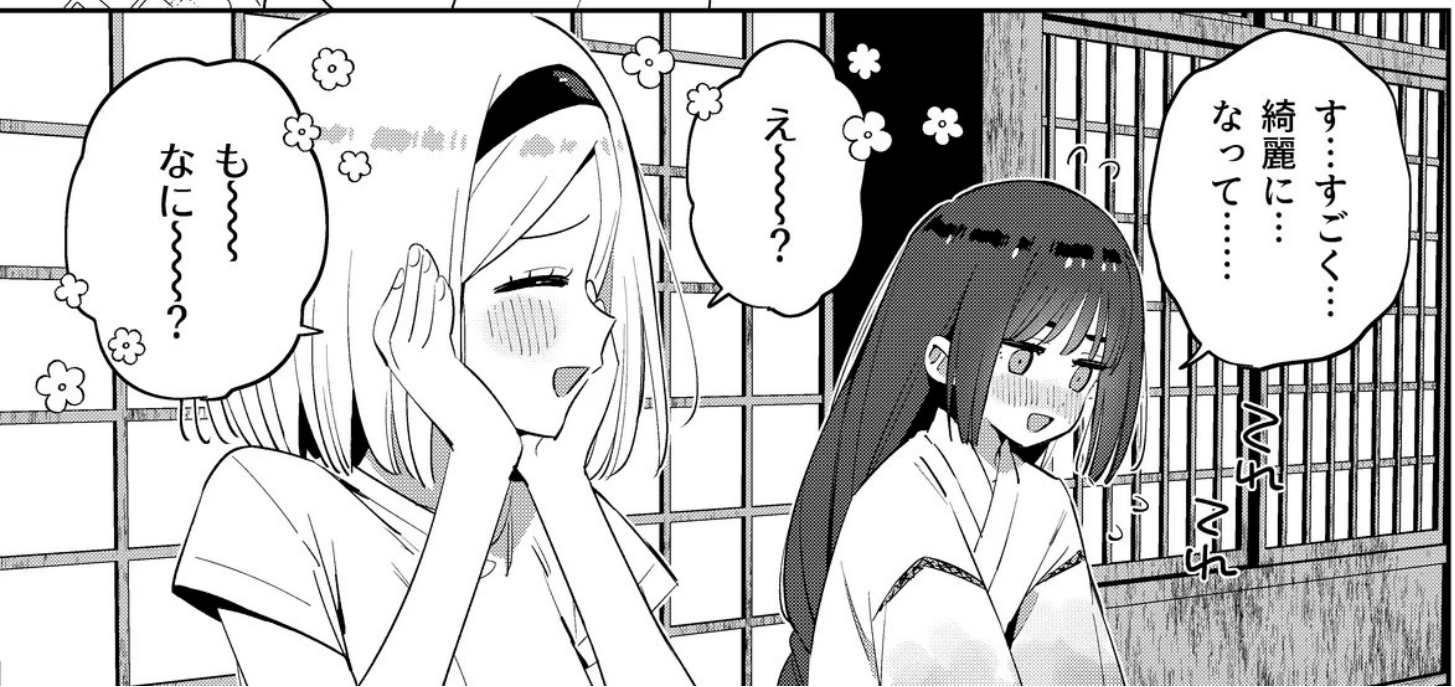
ひょんなことから
神社にお参りに
向かい……


全てを
思い出したのであった
九十九…くん……!?


ひよ子……!?


――そうか…
やはり俺は
忘れ去られて
いたんだな……
ごめんね…!?


いや良い
こうして
また会えたし
それに……
キラ…
？


す…すごく…
綺麗に…
なって……
え～～～？
も～～～
なに～～～？


…じゃなくて
なんで九十九くんは
あの頃と
変わってないの!!?


う~ん…
幼き頃の印象が
強いからだろうか…


まあ俺はここでは
神のような
存在だからな
色々あるんだろう
…やっぱり…

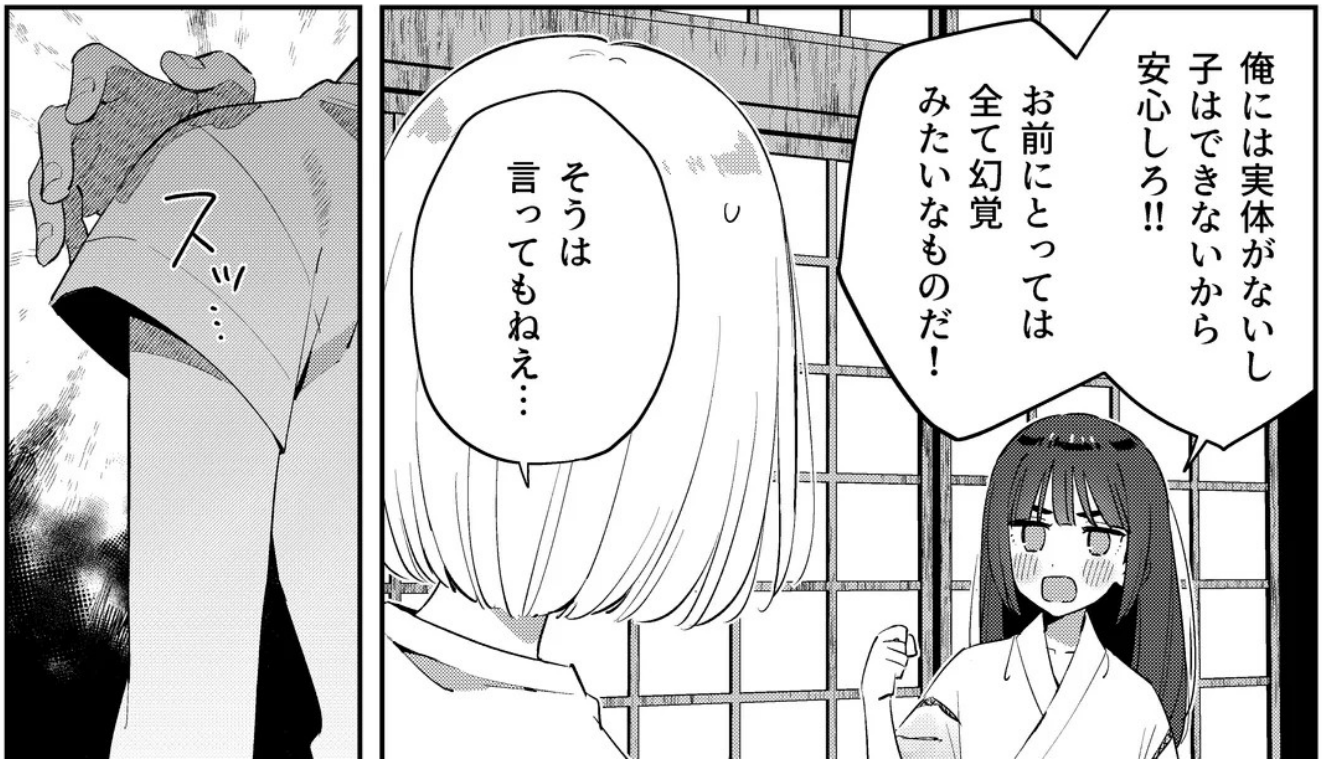

九十九くんって
なんか妙な雰囲気
あったからなあ…
心のどこかでは
人間じゃないかもって
感じてはいたけど
まさか本当に……
まあ細かいことは
気にするな!


それよりも…だ!


あの〝約束〟……
覚えている…よな…？
…エロガキ!!
子作りするって
約束しただろう!!
俺はずっと楽しみに
待ってたんだぞ!?
ひよ子〜


それなのに
ひよ子に6年間も
焦らされ続けて……
6年間毎日
ひとり悲しくシコシコと……
焦らしてない!!!


子作りって
簡単に言うけど
そんなの無理に
決まってるでしょ!!
じゃ…じゃあ
子はいらないから
性行為(まぐわい)だけ
させてくれ…!
なに言ってんの!!?


俺には実体がないし
子はできないから
安心しろ!!
お前にとっては
全て幻覚
みたいなものだ!
そうは
言ってもねえ…
スッ…


きゃあっ!?
なにこれっ!?
頼む～～～!!
一生の願いだ!!!
パニッ
好きなんだ
ひよ子の
ことが!!!


そんなこと
言われたって……
ひよ子…
やわらかい…♡
ちょっ!?
もみゅ
もみゅ
もみゅ
ハァ
ハァ
というかこの
変な手って
九十九くんが何か
してるの……!?
むにゅっ
やっ
やめてよ
エッチ!!
はぁ
はぁ
…もっ
もう
わかったから
離して!
むにゅん
もみゅ
もみゅ
!!!
…ね…ねえ

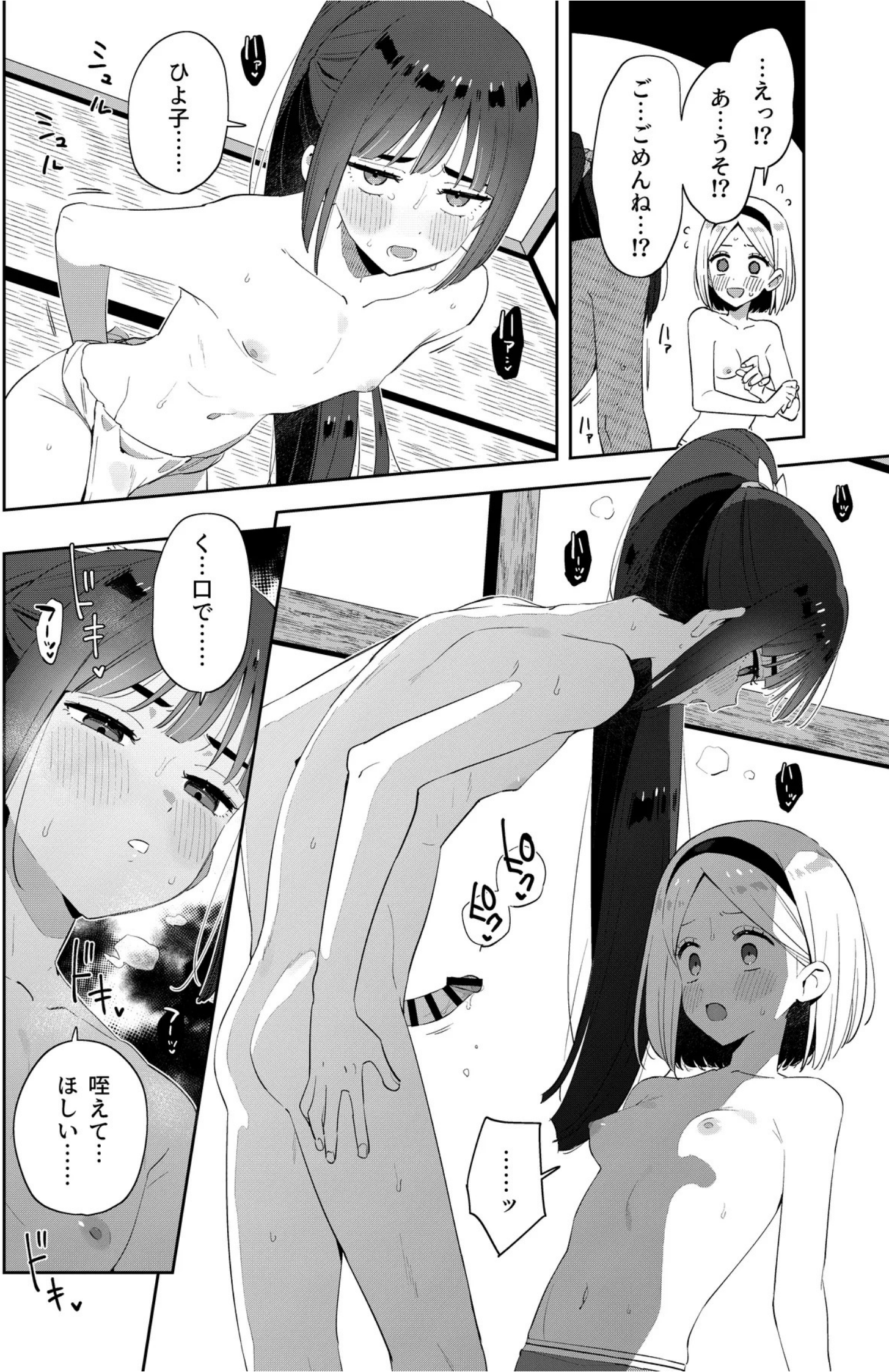

ホントに
実体ないんだよね!?
ペタ
ペタ
大丈夫だ
ひよ子
ひ…人が来たら
やばいから咄嗟に
中入っちゃったけど…
私……
本当にするの…!?
ぬぎ
ぬぎ
ガー
!!?
待って
恥ずかしすぎ
やっぱやめよう?
私まだ…
経験……
ない…し…
おお!
ひよ子も
はじめてか!
よし!
早く脱げ
ひよ子
早く!!!
この……
スケベ神…


も〜〜っ！
どうにでもなれ!!
…あんまり見ちゃダメだからね！
ドキ…
ドキ…
グイッ
スルリ…
はぁ…
なんでこんなことに…
グッ
ぷるっ♥
…はい……
……ッ
……
ゴクリ…


見すぎ…
きゃあっ!!?
クッ
も…もっと
優しく……
ムーーッ
ムーーッ
タラ…
ひよ子の乳…
やわらかい……
ふぁ
やれやれ…
うぅ…
近い…
もみゅ
にゅ
もみゅ
もに
もに


はむっ♥
ビクンッ♥
ひっ!?
ちゅぱ♥
ちゅぱ♥
ひよ子…♡
チュッ♥
ひよ子…♡
チュッ♥
レロレロ♥
ハァ♥
やっ
九十九くん…
ってば…！
ハッ♥
ハッ♥
ちょっ
も～～～…！
あっ♡
びくっ♥
ちゅぱ♥
もむ♥
もむ♥

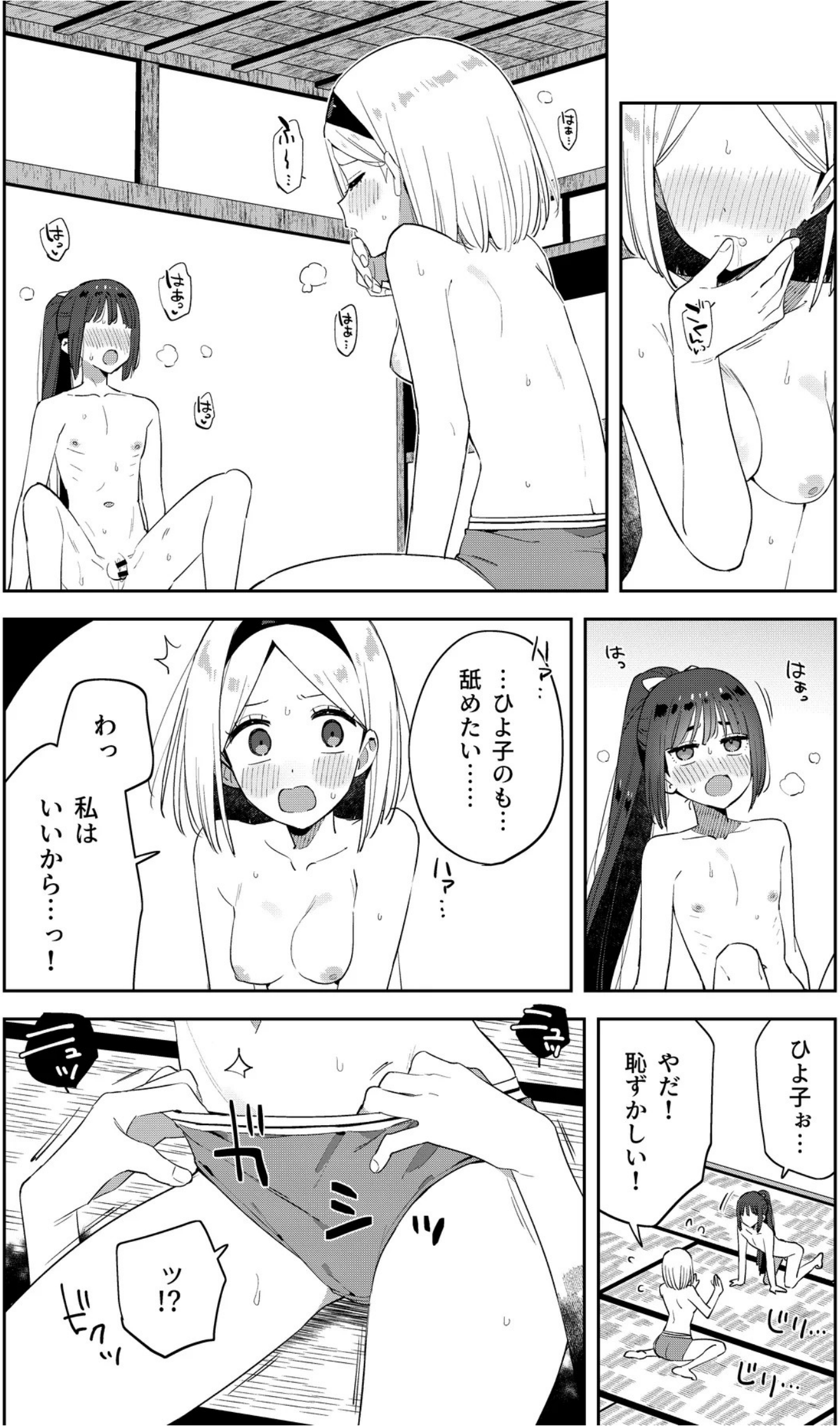

…すごい…
勃ってる……
さわったら…
気持ちいいのかな…？
ひよ…っ♡
あはぁ♡


…えっ!?
あ…うそ!?
ご…ごめんね…!?
ひよ子……
ミュル
ミュル
く…口で……
ドキ
ドキ
咥えて…
ほしい……
ドキ
……ッ


わ……
わか…った…
……
ドキ…
ドキ…
…っ！
はむっ
あっ♡
ビクン♡


あっ♡
ひよ…っ♡
あぁっ♡
こ…こんな感じでいいのかな…
ちゅぱ
ガクガク
ビクン
ビク
ビクビク
お…っ♡
おかしく…な…りそう…だ…♡
あっ♡
はぁっ


ぶくぶく
あっ♡
ひよ子っ♡
ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ
クポ
クポ
すごく…っ
気持ち…ひぃ…っ♡
ぶるぶる
ビクビク
ちゅっぽ
ちゅっぽ
あっ♡
で…っ♡
ぷしゅっ


はぁ…
ふ～…
はっ
はぁっ
はぁ…
はっ
ごくっ
はぁっ
はっ
ハァ…
…ひよ子のも…
舐めたい……
ハァ…
わっ
私は
いいから…っ！
ひよ子ぉ…
やだ！
恥ずかしい！
じぃ…
じぃ…
ッ!?


ハァ
ハァ
ハァ
ちょっ…
卑怯!!
グッ
グッ…
グッ…
もう今さら
恥ずかしがることも
ないだろう!
ドサッ
今さらとか…
カンケーない…
から…っ!
あっ!!?
……ッ
これが…
ひよ子の……!
ギンギン
ぱっ♡
あぁ～～…
もう……
うぅ…
広げないで…
恥ずかしすぎる…


みおん
…あっ!?
ビクッ
はぅ
ロープ
あっ♡
ちょっ
ビクッ
ペチュ
ズリ
クチュ
クチュ
ペチュ
ビク
あんっ♡
ビク
ズリ
ズリ
やば……
ちょっと…
気持ち…いい…
ビク
ビク
フッ
クチュ
クチュ
おちゅ
おちゅ
あっ
ビクビク

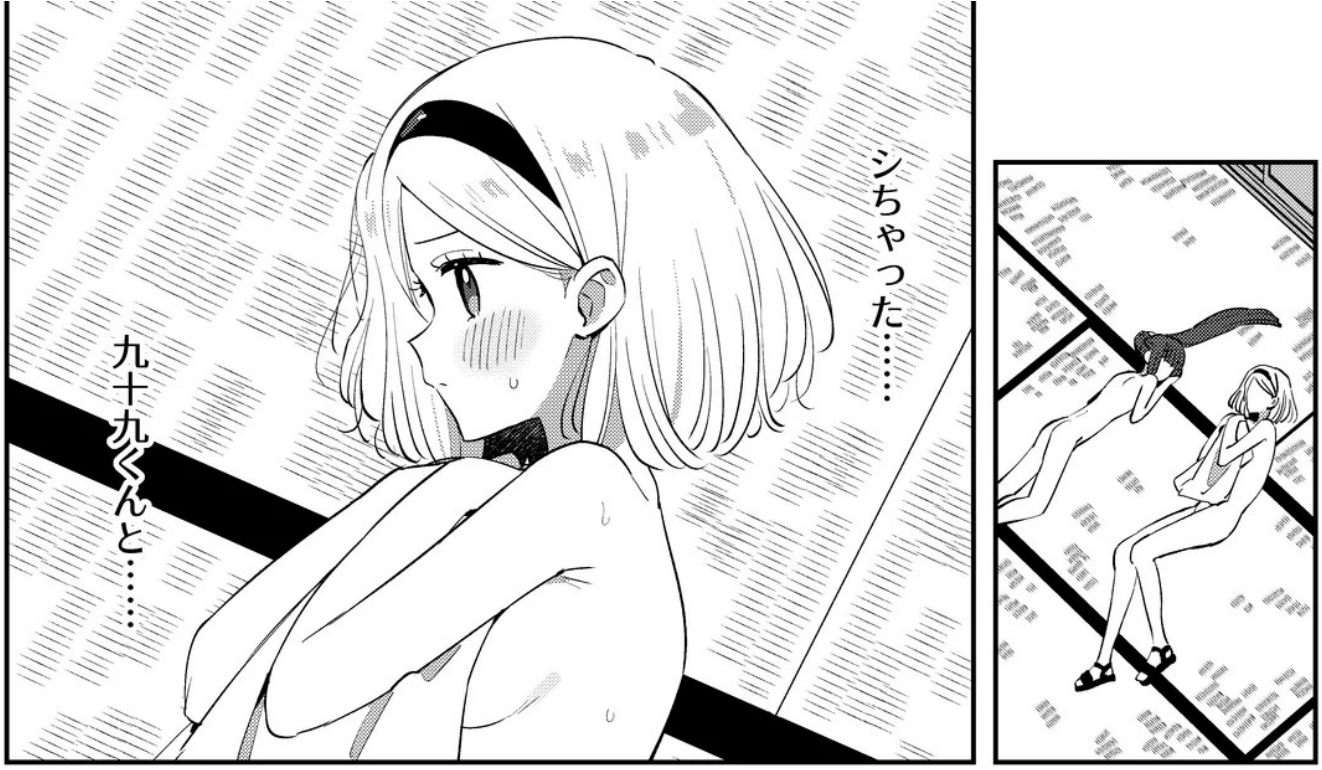

ぐぐぐ
アーッ
アーッ
ぢゅーっ
ベロ♡
ベロ♡
はぁっ…
も…っ
ぐぐぐ
あっ♡
ぷはっ
はっ♡
我慢……
できない……っ♡
ぐぐぐ
ひよ子…ッ♡
あっ♡
ヌチュ♡
ヌチュ♡
ヌチュ♡
ヌチュ♡
ぐぐぐ
あっ♡
ちょっ
ちょっと…!!


はぁ～ッ
すごく熱くて…っ♡
絡みついて……っ♡
あ
ビクビク
はッ
ぁあぁあ♡
え……？
あ……
出ちゃったの…!?
ビクン…♡
ビクン…♡
ビクビク…♡
はッ
ひ…ひよ子のなか……
はッ
チカ
チカ
チカ
きもひ…
よふぎへ……♡


ほ…本当に
色々と大丈夫
なんだよね…!?
ぐぐ
ニュププ…♡
らい……
じょーぶ…ら……♡
ぐぐ
ビクンッ♡
あっ
あぎッ
ひよ子…っ♡
はっ
ひよこ…っ♡
ヌプッ
ヌプッ
ヌプッ
あぁ
ビクッ♡
パチュ
パチュ
んあっ
ん…っ♡
クスッ
九十九くん…
本当に
気持ちよさそう…
あぎッ


ひよ子も…
き…気持ち…
良いか……？
うん…♡
はぁ
はぁ
ぐぐ
ぐぐ
気持ちいいよ…
九十九くん…♡
パチュ
パチュ
ヌチュ
ヌチュ
ヌチュ
ん…っ
パン
パン
パン
チュッ
よかった……♡

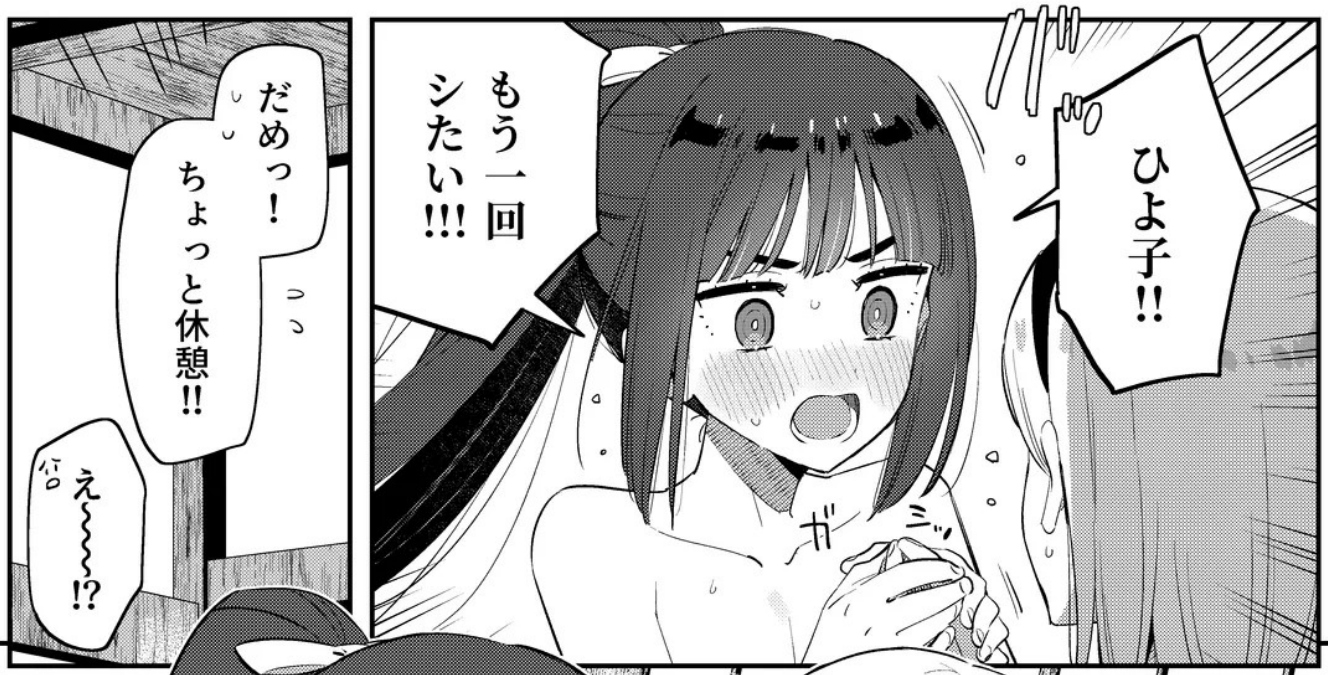
ズチュッ
ズッ
ドクン
ドクン
ビュー
ビュー
ドクン
ドクン
ドロ…

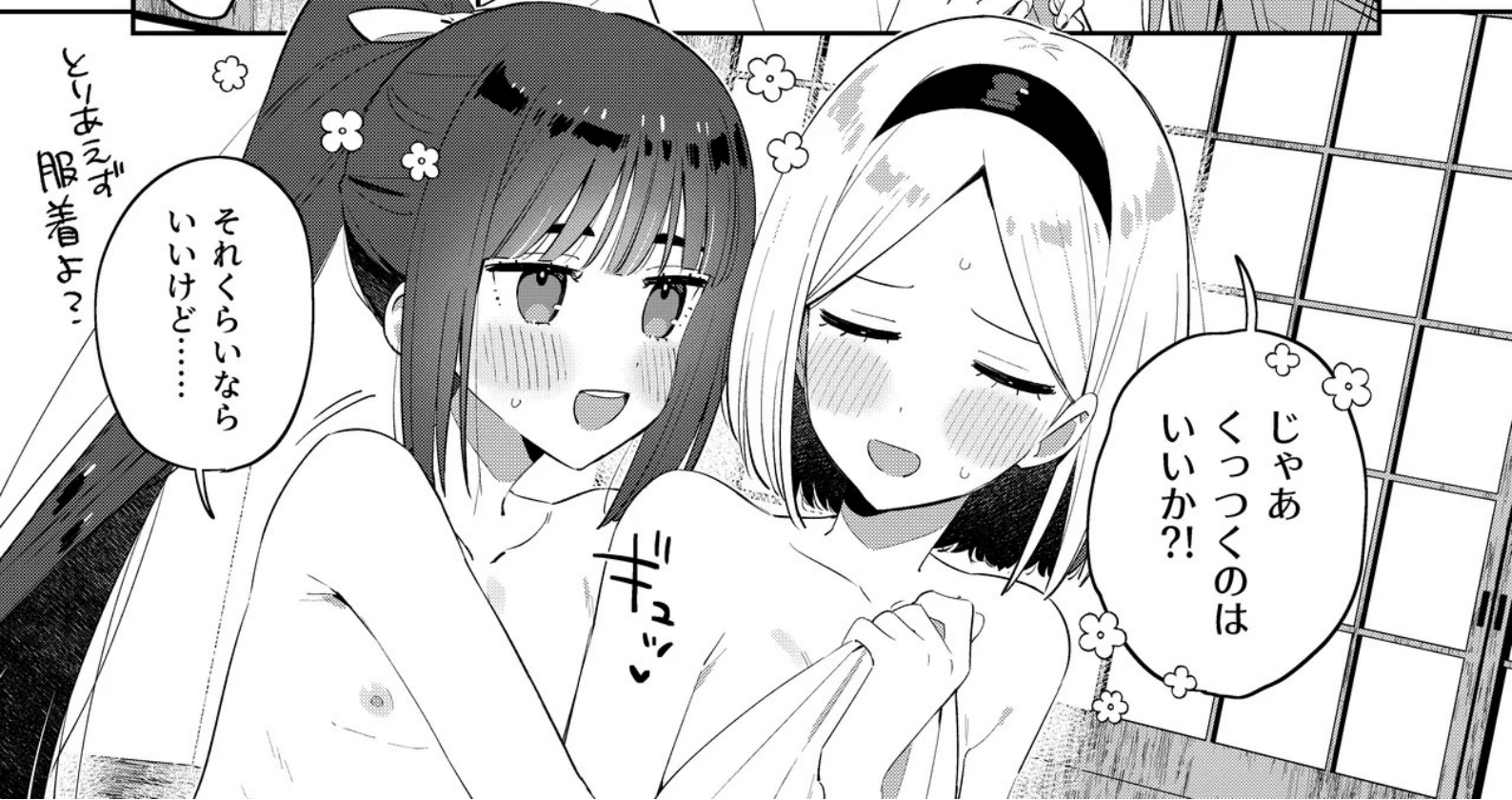

シちゃった……
九十九くんと……

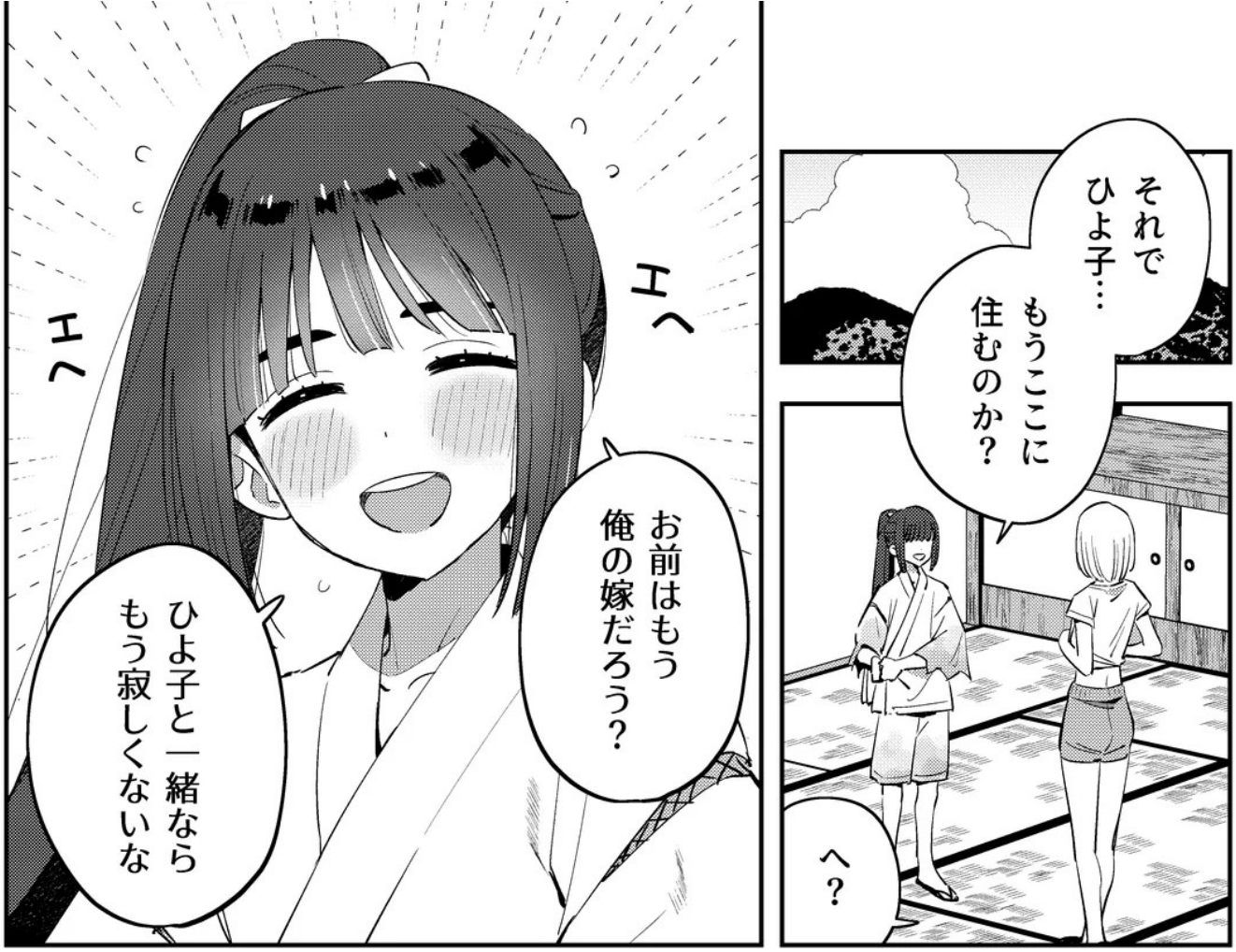

幻覚のようなもの…
そう九十九くんは
言ってたけど…
キぞ…
リアルすぎて…
本当…みたい……

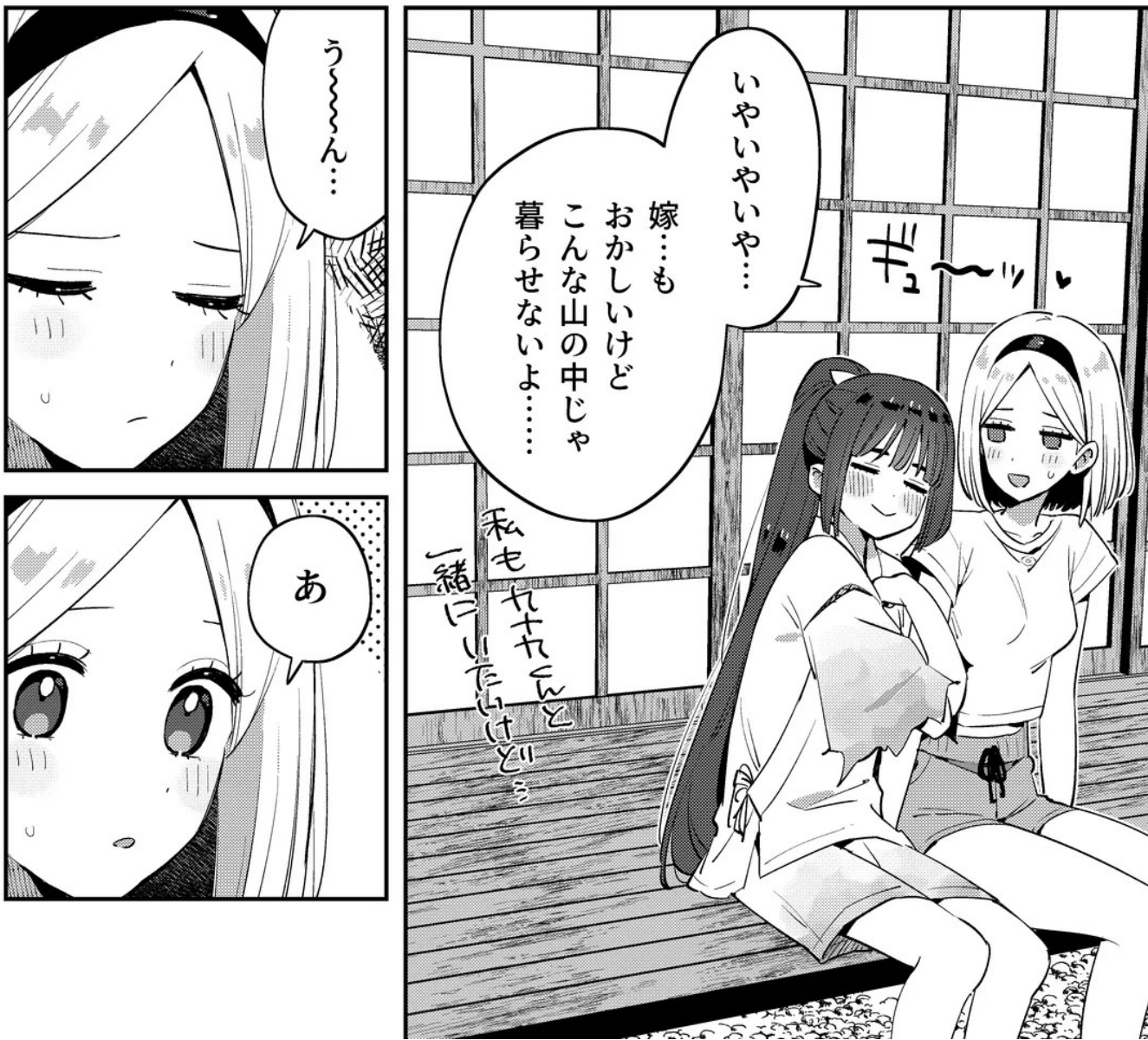

はぁ はぁ
はーっ
はーっ
なんだか……
夢みたいだ……


プッ
九十九くんってば…
そんなに
気持ちよかった？

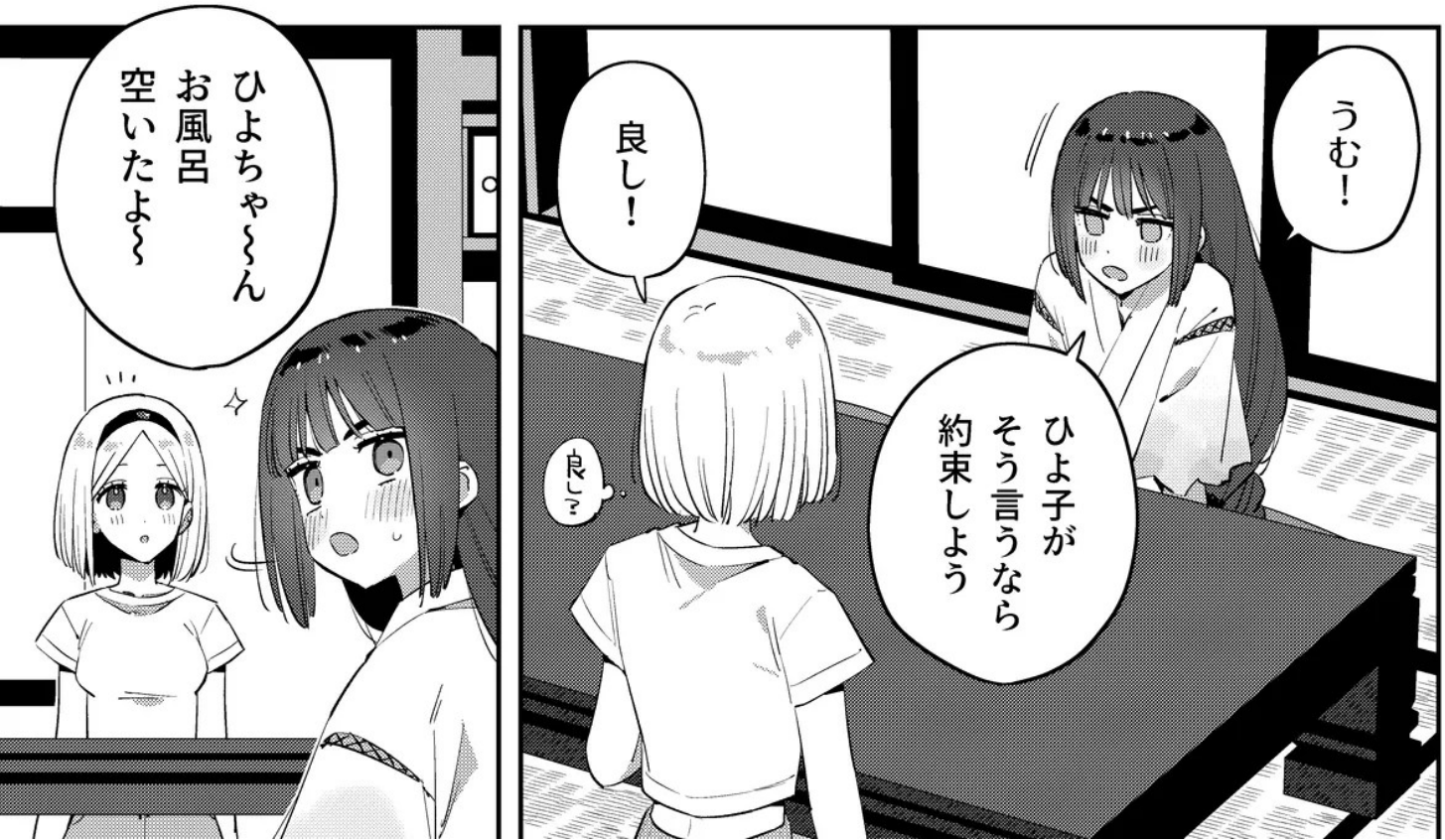

ひよ子!!
もう一回
シたい!!!
ガシッ
だめっ！
ちょっと休憩!!
え〜〜〜!?


じゃあ
くっつくのは
いいか?!
ギュッ
それくらいなら
いいけど……
とりあえず服着よっ

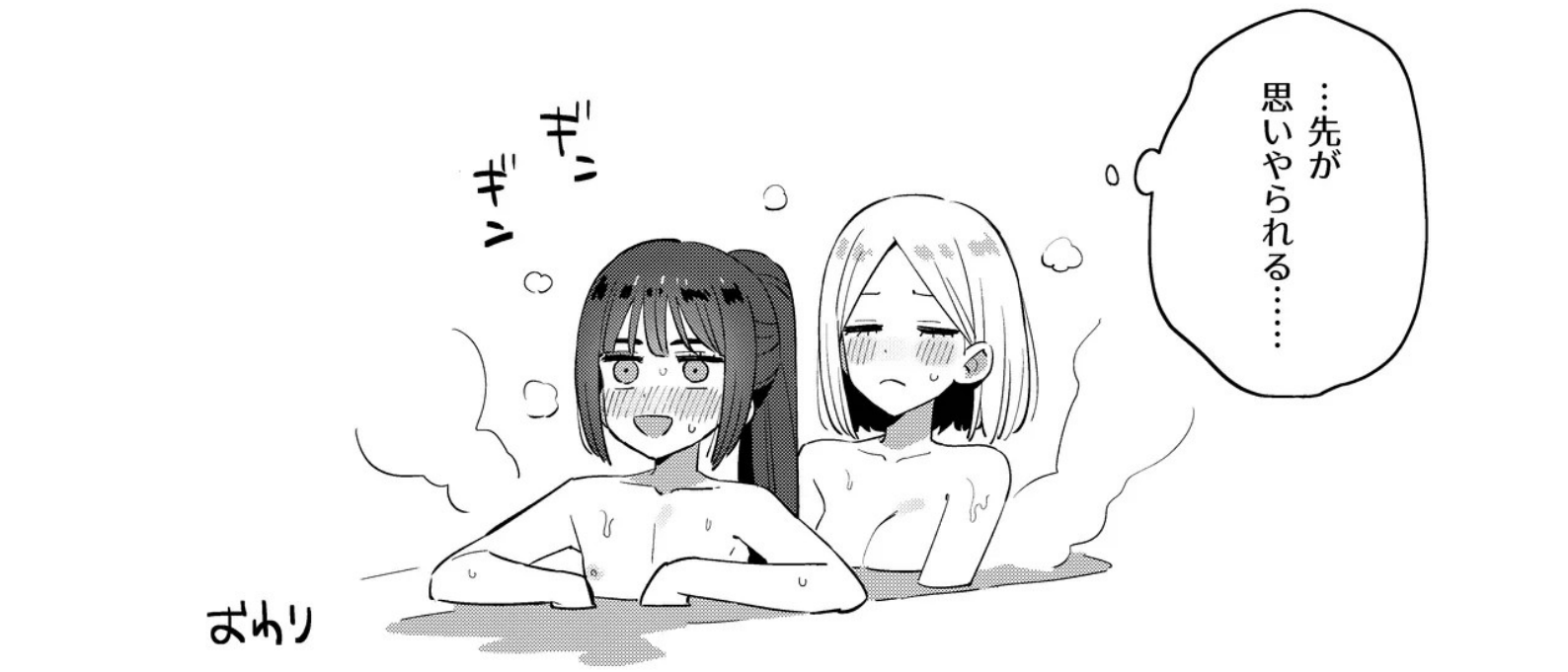

それで
ひよ子…
もうここに
住むのか？
へ？
エへ
エへ
お前はもう
俺の嫁だろう？
ひよ子と一緒なら
もう寂しくないな


いやいやいや…
嫁…も
おかしいけど
こんな山の中じゃ
暮らせないよ……
ギュ〜ッ♥
私もれれくんと
一緒にいたいけどっ
う〜〜ん…
あ


キョロ
キョロ
ここが
ひよ子の家……！
おばあちゃんの家ね
それまで
大人しくしててね！
いい？
私が卒業したら
ここで暮らせるよう
色々がんばるから…


うむ！
良し！
ひよ子が
そう言うなら
約束しよう
良し？
ひよちゃ～ん
お風呂
空いたよ～





おわり